



作成：南小学校

考え、議論することを促すツールとして

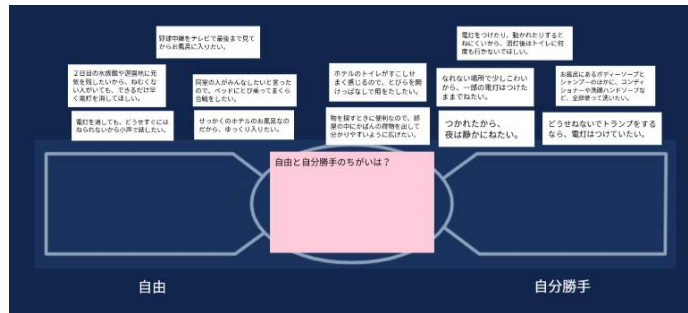
【内容】6年生 道徳科「修学旅行の夜」

【使用アプリ】ロイロノート

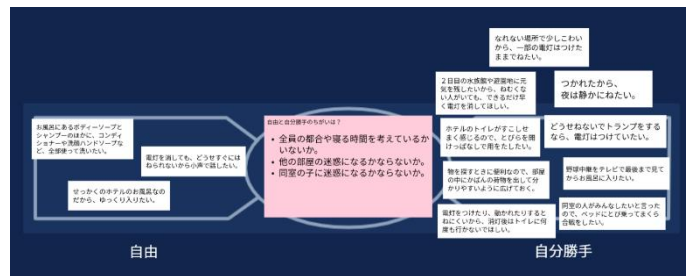
【事例紹介】

本教材の主題は、「自由と責任について考える」です。修学旅行中の登場人物たちは、消灯時間を過ぎてからも、友達とおしゃべりがしたくなります。人に迷惑をかけてはいけないという気持ちがある一方で、修学旅行の夜ぐらいいみんなで楽しみたいという思いも募らせていきます。結局は、大声で騒ぎすぎてしまい、見回りの教師から「自由と自分勝手の違いを考えなさい。」と叱られてしまいます。

授業では、様々なシチュエーションのカードについて、それは自由なのか自分勝手なのかを考え、議論しました。教材の中にあつた「電気を消しても、どうせすぐには寝られないから話したい」というカードを始め、「野球中継を最後まで観てからお風呂に入りたい」や「慣れない場所で少し怖いから一部の電灯はつけたまま寝たい」など、実際の修学旅行の場面であり得そうな様々なシチュエーションを用意しました。それぞれのカードが自由なのか自分勝手なのかを話し合った後、自分が考えた「自由と自分勝手の違い」について、中央のピンクのカードに書き込み、全体で共有しました。終末部では、これから自分たちが行く修学旅行をみんなで楽しめる最高のものにするために、どんなことを大切にしていきたいか考えました。



キャンディーチャートに
カードを動かす



みんなで楽しめる修学旅行にするために、大切にしたいことは？

自分のことだけではなく、相手のことも考える。でも、ずっと我慢せずに、自分のやりたいことも相手に話す。相手と話し合っ決めて。

【終わりに】

キャンディーチャートの中で、教材のシチュエーションとその他のシチュエーションを同時に考え、議論していくことで、自然に教材から離れ、一人一人の児童が自分の事として考えることができました。また、カードの操作をドラッグ&ドロップにすることで端末操作に時間を短縮し、考えを広げたり深めたりすることに多くの時間を活用できました。

☆教育委員会指導主事より☆ 自分の考えを整理するために ICT が役立つことはみなさんもよくご存知のことと思いますが、その後の共有や話し合いの活動はどのように展開していますか？どのような画面を全体で共有するのか、グループ分けはどう決めるのか、chromebook を持って行くのか、結果をどうまとめるのか、など様々なパターンから選択しなければなりません。また、その選択を「学習者が行う。」という方法もあります。授業や活動のねらいに迫るために適切な授業展開を、ぜひ検討してみてください。